

ワークショップ通信 VOL.1

城南中学校区小中学校集約化・長寿命化検討事業

～ とどけよう 地域の**声**を!
伝えよう!みんなの**思い**を!! ～

折原小学校、鉢形小学校両校の校舎は昭和40年代に建築され既に50年が経過し、施設の老朽化が随所にみられます。また、児童数が減少し将来推計においても増加が見込めず、特に折原小学校では複式学級が常態化する可能性があることなどから、城南中学校区の小中学校のあり方の検討は喫緊の課題となっています。



折原小学校



鉢形小学校



城南中学校

学校施設は、教育の場であると同時に地域の方々にとっては、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、災害時には避難所としての役割を果たす重要な施設であります。

そのため、将来の学校施設の議論については、児童生徒数の減少や施設の老朽化等、現状の課題等を踏まえた上で、関係する地元地域のみならず、意見交換を重ね、より多くの方々にご理解をいただきながら進めてまいります。

ワークショップを実施します

将来の学校施設のあり方について、地元のみならず、広く意見を聴取するため、ワークショップを実施します!

ワークショップとは?

ワークショップとは、もともと「創造的な協働作業」を意味することばで、集まった参加者が、全員で一緒に考えながら、協働作業で提案やプランを作り上げていくものです。

ファシリテーター(進行役)の進行のもと与えられた課題やテーマに対して複数人からなるグループで話し合いをしたり、共同作業を行います。説明会などの一方的な会議と異なり、ワークショップでは参加者同士で双方向のコミュニケーションを取りながら課題解決を行います。



ゲームの要素を用いるなど、リラックスした雰囲気の中で、参加者が自由に、気軽に意見を出し合える雰囲気で行い、さまざまな思いやニーズ、ノウハウ等を引き出して、提案やプランに生かしていく手法です。

第1回 ワークショップ会議

2023.9.22 @鉢形財産区会館

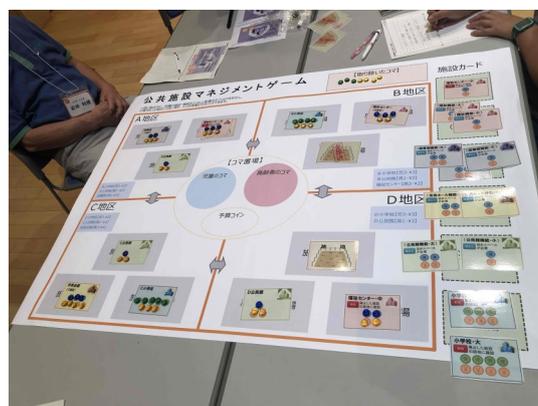
ワークショップ会議は、折原、鉢形地区の代表（区長、民生委員、各小中学校PTA）36名で構成され、第1回会議には、33名の方に参加いただきました。

会議内容

- ・ 町公共施設全体の状況について（総合政策課説明）
- ・ 城南中学校区小中学校の現状について（教育委員会 教育総務課説明）
- ・ キックオフ（ワークショップの目的・ルール説明・自己紹介等）
- ・ 模擬会議（公共施設再編ゲーム）

模擬会議（公共施設再編ゲーム）は、公共施設の配置計画を考えるゲームで、限られた予算のなかで、「増える高齢者」、「減る子ども」に対応するため、公共施設の新設・廃止・複合化を検討するものです。

グループごとに意見を出し合い、協力しあって、全てのグループでお題をクリアすることができました！



当日の様子



次回以降、将来の学校施設のあり方について、具体的な検討をおこなってまいります。

問い合わせ先 寄居町教育委員会 担当 教育総務課 総務管理担当
電話 048-581-2121(内線 511)